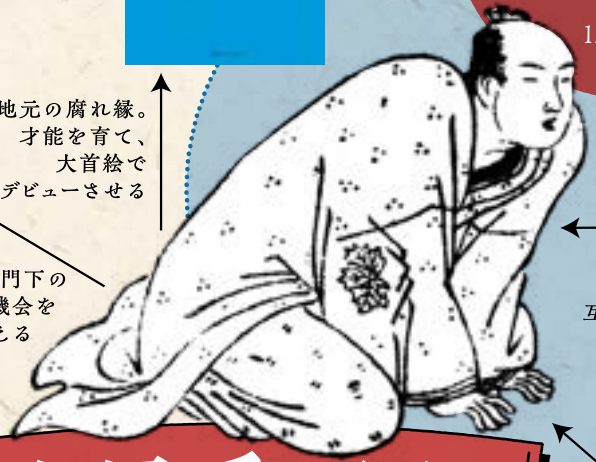


葛屋重三郎と江戸文化

読書MAP

狂歌会
流行の発信源

葛屋重三郎



鳥山石燕
(1712-1788)

師匠 弟子

喜多川歌麿
(1753?-1806)

時代をつくった
12人の人間関係が見えてくる

葛屋を中心に
版元、読者、本の歴史を描く

葛飾北斎
(1760-1849)

勝川春章門下の若手に機会をあたえる

地元の腐れ縁。才能を育て、大首絵でデビューさせる

気の合う仲間として互いにリスペクト。ふたりを中心に文化人ネットワークが広がる



大田南畝
万載狂歌集

大田南畝
(1749-1823)

「本絵師」のプライド
「画工」の道を極める

歌川広重
(1797-1858)

役者絵の才能を发掘しプロデュース。世間をあつといわせるサプライズ企画

東洲斎写楽
(??-??)

才能を見出し、生活の面倒をみる

曲亭馬琴
(1767-1848)

強い恩義を感じ、功績を書き残す

憧れと尊敬

十返舎一九
(1765-1831)

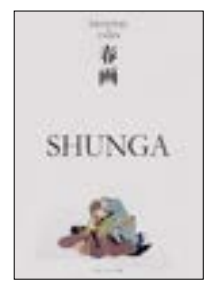
葛屋に寄宿し、やがて売れっ子に

狂歌で名を上げたい

和本と読書の歴史を知る



浮世絵と春画を楽しむ



絵師
戯作者

監修：鈴木俊幸
(大河ドラマ「徳川家康」版元考証者)

MAP掲載の書籍(すべてKADOKAWA刊)は、
全国の書店、電子書店にてお求めいただけます。



鈴木俊幸
『本の江戸文化講義 葛屋重三郎と本屋の時代』
単行本 (KADOKAWA)

佐藤至子
『葛屋重三郎の時代 狂歌・戯作・浮世絵の12人』
角川ソフィア文庫

小林ふみ子
『大田南畝 江戸に狂歌の花咲かす』
角川ソフィア文庫

大田南畝 編 / 宇田敏彦 校注
『万載狂歌集 江戸の機知とユーモア』
角川ソフィア文庫

曲亭馬琴 / 石川博 編
『南総里見八犬伝 ビギナーズ・クラシックス 日本の古典』
角川ソフィア文庫

田辺聖子
『東海道中膝栗毛を旅しよう』
角川ソフィア文庫

鳥山石燕
『鳥山石燕 画図百鬼夜行 全画集』
角川ソフィア文庫

大久保純一
『歌麿 UTAMARO ジャパンロジー・コレクション』
角川ソフィア文庫

大久保純一
『北斎 HOKUSAI ジャパンロジー・コレクション』
角川ソフィア文庫

大久保純一
『広重 HIROSHIGE ジャパンロジー・コレクション』
角川ソフィア文庫

渡邊晃
『写楽 SHARAKU ジャパンロジー・コレクション』
角川ソフィア文庫

橋口侯之介
『和本への招待 日本人と書物の歴史』
角川ソフィア文庫

高橋克彦
『浮世絵鑑賞事典』
角川ソフィア文庫 (電子版)

早川聞多
『春画 SHUNGA ジャパンロジー・コレクション』
角川ソフィア文庫 (電子版)

MAP掲載図版

●葛屋重三郎(左) 京傳 作『箱入娘面屋人魚 3』
葛唐丸 国立国会図書館デジタルコレクション

●大田南畝(右)『吾妻曲狂歌文庫』より大田南畝 東京都立図書館蔵